

ジェンダー平等の「見える化」に向けた資料に関する主なご意見

※資料2-2(第1回会議資料)についての主なご意見と反映状況をまとめています。

主なご意見	反映状況
①他区との比較や区の強み。数値により経過を示すだけではなくて、それに対してこういう取り組みをしてきて、どう変化があったかという説明がついてくるのが望ましい。	区が実施してきたことに対する直接的な成果として数値を使用することが難しいので、今回の「見える化」の資料よりは、新計画で示すことを検討していきます。
②ジェンダー平等につながっていくアクションが具体的に見えるよう、相談先の例示などを入れるのはどうか。	DV・ハラスメント、LGBTQ の項目に相談先を記載しています。
③日本は世界で何番目にジェンダー平等の指数が低いというのはよく目にするが、この分野が実は高いというのを知れたら良い。	ジェンダーギャップ指数について、コラムとして掲載します。
④LGBTQ に関する取り組みを行っている事業所について、割合で出してしまうとかなり少ないが、やりたくても実際にやるのが難しい場合もある。匿名性に配慮しながらグッドプラクティスの事例共有なども良い。	数値は更新していく必要があるので、次回改正時にコラムとして掲載を検討していきます。
⑤グラフだけでない、補足説明や事例の共有というのは大事なと思う反面、公平なアンケート結果について、何を具体的に出すかというところには人の視点が入ってしまい、作成者の意図が出てしまうというところが難しいと感じる。	「はじめに」の欄に、読者がそれぞれの視点で考えてほしいといった文言を追加しました。
⑥SNS など、若者が見るような発信の仕方も検討してはどうか。	区のSNS(X・Facebook・LINE)を活用するほか、男女共同参画センターMIWのSNS(Instagram・Facebook)でも発信していきます。
⑦学校の教材に使う、ディスカッションのテーマに使うのはどうか。	全職員に情報共有し、各課での活用を依頼していきます。